

保 姆 の 務

大阪 本田幼稚園保母 中 川 優

人の務に何れが重い、何れが軽いと云ふ事は無いが、幼稚園保母の責任程重大な者は有るまい。

國務大臣は重く尊からう、軍人の務も重大である、而しながら未來に國務大臣たり、國家の干城たるべき第二の國民を養成する務が、誰の手に握られてあるかに思ひ至る時は、思はず襟を正し座を改めて、自己の責任の重大なるを自覺するのである。重く尊き保母の務よ。私は我等がこの重大なる使命を脊負つて立つ以上、如何なる決心と努力が必要なりやと云ふ前に、順序として我等の複雑なる地位と重き任務とを述べねばならぬ。

學校と家庭と醫師と心理學者の中間に立つて其等の人々から提出される所の種々なる要求！難しき要求、價值なき要求、學理上より照した合理的

な要求、要するに學理と家庭と醫師と心理學者は個々別々な、或は正反對な要求をせられるのである、かゝる地位に有つて其をよく處理し、中庸を取りつゝ、幼兒の爲めに最善の努力をするのが、我等幼稚園保母の務である。此様な複雑な地位に立ち、而も此の様な重大な責任を持つ我等は、如何にして其の責任を全うせんか。それは内容の充實を目的とし、確固たる根柢と不撓の努力と而して不屈の精神に待つより外はないのである。種々なる要求に對しては確固たる根柢が必要である。根柢なき保母は、フレーベル主義がよいと云はれば其れに依り、他から誤れりと云はれ、ば其の方に傾き、モンテッソーリ主義が唱へらるれば、夫れに従ひ、浮草の水に漂ふやうに、種々なる人の

意見に依つて左右され、徒らに形式に流れて、内容の充實を缺くやうな事になるのである。若しこの様に基礎の定まらぬ保姆が有つたならば、それから幼児が受ける暗示は如何なるものであらうか意志の薄弱！其は第一に受ける暗示で、之に依つて幼児は意志の強固を缺き、自信力のない、依頼心の強い國民とならう。夫程にならずとも、少くも自發活動の無い、非現代的の人になりはしないかと危ぶまれる。大切な幼児を幼稚園に託して非現代的の人物を作らざることを要求する親が何處に有らうか？其れを思へば我等は確たる自信を持ち、その方針を定めつゝ、各方面よりの要求を考慮しそれを取捨し、行ふに不撓の努力を以てしなればならぬのである。確固たる根柢に依りて方針を定め、其れを行ふには動かざる決心が必要である。世には感情に走るが爲に理性を失ひ、他人の行ふ事を兎角批評したがる人も有るかも知れぬが、其様な事に出合つて自己の決心を鈍らすやうな事では、この重い責任は決して全うせられぬのである。幸ひにして當大阪市では心理學、生理學等に對しては斯道の大家の講演が屢々催され、我等は之に

依つて既に確固たる根柢を得たのであるから、今我等は取るべき方針を定めて、幼児の保育に従事すべきである。我等の取るべき方針とは如何？

それはフレーベル主義の復活でもなければ、非現代的の人物の養成でもなく、又モンテッソーリ崇拜主義でもない。幼稚園は總ての教育の基礎であつて、幼稚園幼児は、この雄大な自然の懷に抱かれて月に花に、雨に雪にその潜んだ知的本能を現すのであるから、我等はその發芽を看過せざることに留意し、適當に助長せしめ、身體の養護を専らにし、強健なる身體の基礎を築き、品性を陶冶することに努力すべきである。純なる幼児の保育は徒らに形式に流れて出來得べきではない。宜しくこの自然に従つてなし、春の霞に野山の包まれるが如く幼児も自然の御手に包まれて、のんびりと、その心身を發達せしむるやうに保育すべきである。繰り返して云ふ、我等は内容の充實を以て形式の打破に代へ、固き決心と、撓まぬ努力と、而して絶えざる修養とを以て、この重く尊き任務を全うせんことを。以上